

2024 年 12 月 25 日  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所

## STACY（定常臨界実験装置）施設に係る 施設定期評価の実施結果について（お知らせ）

日本原子力研究開発機構は、原子力科学研究所に設置しているSTACY（定常臨界実験装置）施設（以下「STACY施設」という。）に係る施設定期評価を実施し、施設定期評価実施報告書（STACY施設）として取りまとめたのでお知らせします。

今回の評価では、STACY施設は保安活動が適切に実施されていることを確認しました。また、経年劣化の評価により今後も安全機能を維持できることを確認し、長期施設管理方針を定めました。

引き続き保安活動及び品質マネジメントシステムの継続的な改善を図ることにより、原子炉施設のさらなる安全性及び信頼性の向上に努めてまいります。

今回の施設定期評価の実施結果の概要は別紙のとおりです。

※施設定期評価は、原子炉設置者の予防保全活動として以下の評価を行うものです。

- ①10 年を超えない期間ごとに実施する保安活動に関する評価
- ②運転開始から 30 年を経過する日までに実施する経年劣化に関する評価及び評価後 10 年間の長期施設管理方針の策定

以上

別紙：STACY施設定期評価実施報告書の概要

## S T A C Y 施設定期評価実施報告書の概要

### 1. S T A C Y 施設の概要

#### (1) 概要

型式：濃縮ウラン燃料軽水減速型

最大熱出力：200W

#### (2) 主要経緯

原子炉設置(変更)許可：1988 年 10 月 7 日

新規制基準に適合させるための変更等の原子炉設置(変更)許可：2018 年 1 月 31 日

#### (3) 運転実績(2014 年度～2023 年度)

運転実績なし（改造工事及び新規制基準対応のため）

### 2. 原子炉施設の定期的な評価及び経年劣化に関する技術的な評価

#### 【評価対象期間】

保安活動に関する評価：2014 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

高経年化に関する評価：1995 年 5 月 15 日～2022 年 9 月 30 日

#### 【評価項目】

保安活動に関する評価

- ・保安活動の実施の状況の評価
- ・保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

高経年化に関する評価

- ・経年劣化に関する技術的な評価

以下の調査を行い、原子炉施設への影響を明らかにするための評価を実施した。

- (1) 敷地特性
- (2) 構築物、系統及び機器に関する最新状態
- (3) 保安のための管理体制及び管理事項の最新状態
- (4) 国内外の最新の科学的知見及び技術的知見
- (5) 施設の経年劣化の状況

### 3. まとめ

評価対象期間における保全活動の実績を調査した結果、巡視、点検、検査等が適切に実施されていること、最新の技術的知見が保安活動に適切に反映されていることを確認した。よって、評価対象期間における保全活動内容は、妥当であると評価する。

高経年化に関する評価については、安全機能を有する構築物・系統及び機器のうち重要度分類クラス 2 の設備、補修・取替えによる経年劣化対策が容易でない設備である建家等を対象として評価したところ、今後 10 年間、安全機能を維持できることを確認した。－

4. 長期施設管理方針の策定

以上の評価に基づき、S T A C Y施設の長期施設管理方針及びその始期並びに適用期間を以下に策定する。

長期施設管理方針(始期：2023 年 9 月 13 日、適用期間：10 年間)

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 高経年化に関する評価の結果、高経年化対策として充実すべき施設管理の項目はない。 |
|-----------------------------------------|

以上